

科目名	社会学	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	小宮山 智志	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-110004	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	社会学とは何か、さまざまな考え方があります。ここでは新潟“国際”“情報”大学のための講義であることを意識し、人間関係に着目した社会学について考えていきたいと思ひます。アニメーションや漫画、映画・小説など身近な事象を扱ひます（皆さんの関心や理解に応じて、各回の内容・回数を変更する場合があります）。特に後半は、皆さん自身で事例を考えていただきます。これにより抽象的なコンセプトを具体的に捉える能力を養ひます。これはいかなる学問においても重要であるばかりでなく、異質な価値観の他者とのコミュニケーションにおいても役立ちます。学問を超え限界を設けることなく、関係性について考えていきましょう（毎時間、授業内課題を行い、全員で共有します。多様な価値観・発想に触れ、さらに新しいアイデアを考える、オリジナリティがますます求められるAI時代に必要な能力を身に着けます）。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異なった価値観をもった他者と関係性を築くことの大切さを理解できる（知識理解・協調指導力）。</li> <li>・抽象的なコンセプトを具体的な事象で説明できる（発表表現・思考判断・その他：オリジナリティ）。</li> <li>・現代社会の中での“新潟国際情報大学の”、そして“本学の学生である皆さんの”、可能性について考え抜く力を身に着けてください（関心意欲）。</li> </ul>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	チクセントミハイの『楽しみの社会学』と見田宗介の『社会学入門-人間と社会の未来』の序章「越境する地(人間の学・関係の学)」を参考に人間の“関係”について考察します。『風の谷のナウシカ』（スタジオジブリ）を題材とします。
第2回	『風の谷のナウシカ』（スタジオジブリ）で解き明かす“社会的ジレンマ” ゲーム説明編
第3回	『風の谷のナウシカ』（スタジオジブリ）で解き明かす“社会的ジレンマ” ゲーム実施編 *実際にゲームを体験し、解決方法への考察を深めます。

第4回	“社会的ジレンマ” 解決編 *先週のゲームの体験をもとに、解決方法の現実社会への応用を考察します。
第5回	社会的ジレンマ編まとめ
第6回	ブレインストーミングの仕方とノートの取り方
第7回	「なぜ人はささいなことで傷つくのか」傾聴編 実演を踏まえ“傾聴の仕方”を学びます。
第8回	「なぜ人はささいなことで傷つくのか」ラベリング編 私たちの日常生活から考えます。住野よるの『君の隣臓をたべたい』を題材にします。
第9回	「なぜ人はささいなことで傷つくのか」実験編 違背実験を通して私たちの“場”の解明に迫ります。
第10回	「なぜ人はささいなことで傷つくのか」編のまとめと最終レポートについてのグループワーク(1)：最終レポートについて、グループワークで確認・検討します。
第11回	いままでの授業で関心をもったことを、みなさんも調査してみましょう。仮説の立て方を名探偵コナンを用いて学びます。
第12回	アンケート用紙を作成しながら、調査方法について学びます。
第13回	クロス集計分析の方法を学びます(*映像による自宅での自習とレポート提出)。

第14回	最終レポートについてのグループワーク(2)：各自が執筆してきた最終レポートを題材に、グループワークを行います。
第15回	まとめ 全体を振り返ってみましょう。
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	約2時間：テキストの該当箇所を読むとともに、予告された課題について考えてきてください。
【復習】時間・内容	約2時間：もし振り返りアンケートで内容を確認した時に、わからないことがあったら、授業中のノートを見返してください。また必要に応じてノートを書き足して完成させてください。理解できていないところがあったら振り返りアンケートにおいて質問してください。

成績評価	
評価基準・方法	授業内課題(35%)：自分の頭(知識理解・思考判断)と他人の頭をともに活用することを学びます(協調指導力・発表表現・関心意欲)。授業内課題は全員で共有し、他者のアイデア・発想・多様な価値観に触れることで、さらに新たな着想を得ることを、毎回、体験していきます(その他：オリジナリティ)。 最終レポート(65%)：オリジナリティ(その他)と論理的思考力(知識理解・思考判断)が問われます。授業内で他者からコメントを得られる機会を設けます(協調指導力・発表表現)。テーマ選びに関心意欲が関連します。
フィードバック方法	授業内課題は、全員で参考になったものの投票(ピアレビュー)を行います。上位の課題または私が選んだ課題についてのコメントを授業中に行います。最終レポートに関しては、事前に評価基準をお示しします。したがって上記の成績評価割合、授業内課題の上位との比較から、自分のレポートが評価基準のどの程度のレベルに達したのか、わかります。さらに全体のコメントをポータルで送信すると共に、自分のレポートについてコメントが欲しい方には、個別に対応します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク
教科書/参考書	<p>参考文献：必要な箇所を配布します。</p> <p>世界思想社教学社編集部 2018『大学生 学びのハンドブック』世界思想社  M・チクセントミハイ【著】；今村浩明訳 2000『楽しみの社会学』新思索社  見田宗介 1996『社会学入門-人間と社会の未来』岩波新書(1009) 序章  野村一夫 2005『子犬に語る社会学』洋泉社 第一章・第四章・第五章  小林淳一/木村邦博編著1991『考える社会学』ミネルヴァ書房 第一章・第四章・第八章  住野よる 2015『君の臍臓をたべたい』双葉社  大谷信介【ほか】編著 2015『新・社会調査へのアプローチ：論理と方法』ミネルヴァ書房</p>
受講上の留意点等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公欠の場合、希望者には個別に補習を行います。欠席した分のトレーニングを補うことが出来ます。</li> <li>2. 授業中、私が説明しているときは、誰も話してはいけません。小声でもダメです。私が聞こえなくてもあなたの周りの人が迷惑です。</li> <li>3. 授業中に、関係のないことを行っている、盗用・剽窃を行うなどの不正・不法行為が認められた場合、直ちに以後の出席を禁止します。</li> </ol>
JABEE	